



# 社会を知って 広がる視点

## 新聞を読み解き「見る目」育む

教育現場で新聞を活用する動きが広がっています。来年度には新科目「公共」が高校で始まるなど、ニュースが採り入れられる場面はますます増えそうです。新聞で学ぶ意義は何か。教師生活で新聞を活用してきたという「尾木ママ」こと、教育評論家の尾木直樹さんに聞きました。



おぎ・なおき 1947年生まれ。法政大学名誉教授、臨床教育研究所「虹」所長。「尾木ママ」の愛称で親しまれ、教育関係の書籍の著述や監修は230冊を超える。

教員をしていた約40年間、ずっと授業で新聞を使ってきました。

中学でやっていたのは「書き慣れノート」です。生徒は各自、気に入った新聞記事やノートに貼り、「おもしろいな」と思ったところに線を引く。意味がわからないところは「？」、記事と自分の意見が違ふところには「×」を付けます。

1カ月もやっていると、子どもたちの方から、いいと思った理由や反対の理由を書き込むようになります。そのうち、1ページにびっしり大論説を書いてくる子がでてくる。よい文章はお便りにして、他のクラスの子にも見せました。それが一つのモデルになって、生徒たちがどんどん書き込みをするようになるんです。

「書き慣れノート」の効果

### 教育評論家 尾木直樹さんに聞く

は絶大です。まず社会を見る目がついてくる。文章力も伸びてくる。端的に読む人が分かる文章が書けるようになる。そうすると、みんな国語が好きになっちゃうんです。

大学では、臨床教育学のゼミの冒頭15分を使って、学生たちに教育関係で注目したい記事を発表させました。ニュースのなかに教育論で切れるようなものがあつたら、それを掘り起こして、自分の見解を持てるようにしておくんです。

日本では、選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられても、18歳の投票率が極めて低くて問題となりました。それは、子どもたちが日常的に社会参加していないから。例えば、アメリカなら大統領選で子どもたちが模擬投票をやる。ヨーロッパ諸国でも、学

校は民主主義のトレーニング場だとされている。ところが、日本では子どもが置き去りになっています。

例えば、校則の問題。子どもが主役で、先生や親、地域と共同でルールづくりをやっている。学校、ブラック校則はできないわけがないんです。子どもたちは、社会で生きていくんだという実感がわかないから、責任感も伴ってこない。そういう意味で、2022年度から高校で必修になる「公共」には大賛成です。主権者教育として非常に重要。社会の基本的なことを教わったり、自分たちでフィールドワークをやったりしないと、18歳になって投票できないですよ。

そして、そこには新聞を使った学びというものが欠かせないと思います。ニュース検定は私もやってみましたが、本当に勉強になりますね。

### 「天声人語」書き写しノート 今度は英訳版で

朝日新聞の人気コラム「天声人語」の英訳を書き写す専用ノートを15日に発売します。英訳を書き写すことで英語力を身につけ、発信する力を養っていくノートです。時事英語にも詳しくなれます。今年6月までの1年間に掲載され

た天声人語から、14本を厳選しました。ノートの左ページに印刷された英訳を見ながら、右ページに書き写していきます。英単語や用例など、辞書で調べたことを書き留めるメモ欄もあります。日本語の原文は、巻末にまとめて掲載しています。

中学・高校・大学生や社会人、シニアなど、様々な方におすすめです。

監修はNHKラジオ「中学生の基礎英語 レベル2」の講師を務める清泉女子大学の高田智子教授。A4判、64ページ。価格550円(税込み)。

ASA(朝日新聞販売所)や大手書店、「今解き教室e-shop」などでお求めいただけます。



## ニュース時事能力検定試験



ニュース検定(ニュース時事能力検定試験)の累計志願者数が、6月の第53回検定で50万人を突破しました。社会を読み解

### 累計志願者50万人突破 07年から実施

ネットでは様々な情報が氾濫する現代、ニュース情報を読み解き、活用する「時事力」が重要になっていきます。検定では知識を問う問題に加え、図やグラフと記事を組み合わせた複合的に考える問題も出題。総合的に「時事力」を測ります。

検定は全国約400の大学・短大の入試で評価・優遇されており、小論文や総合型選抜(旧AO入試)の対策などとして多くの高校生が受験。また、就職活動の筆記試験、面接対策として大学生にも活用されています。新聞を愛読するシニア層からは「受験で久しぶりに達成感が味わえた」といった感想が寄せられています。

## ニュース検定の出題例

2級

地震の揺れは一般に、震源から遠い場所ほど小さくなります。しかし大地震で【 】地震動が起きる場合があります。遠くの高層ビルを大きく揺らす原因になります。【 】に当てはまる語句を次から選びなさい。

- ① 短周期 ② 長周期 ③ P波 ④ S波

3級

新型コロナウイルスの日本でのワクチン接種について、誤っている説明を次から選びなさい。

- ① 医療従事者、高齢者などから接種が始まった。
② 日本で開発されたワクチンが接種に使われている(2021年4月時点)。
③ 対象者は無料で接種を受けられる。
④ 接種を受けても感染する可能性がある。

5級

電車やバスなどの乗り物で、ベビーカーを使う人の優先スペースを示すマークを、次から選びなさい。



(2021年6月検定問題から抜粋)

- ① 優先C ② 優先E ③ 優先Z 最優先

### 次回は11月21日 併願で検定料割引

ニュース検定は11月21日回に全国38都市で実施します。現在、申し込みを受け付け中です。

志願者50万人突破を記念して、上位級を目指す人の挑戦を後押しする「ステップアップ応援キャンペーン」を実施中。1級と2級を併願すると検定料が2千円引きに、2級と準2級の併願は1千円引きになります。また、9月21日までに1級、2級、準2級を公式サイトからお申し込みいただいた方の中から抽選で50人に、これらの級に対応した公式問題集をプレゼントします。

通常の個人受験の検定料(税込み)は1級6900円、2級4800円、準2級3800円、3級3300円、4級2800円、5級2700円。

申し込みの締め切りは、公式サイトが10月7日、専用申込書が9月30日。専用申込書をご希望の方は受験サポートセンター(03・5209・0553)までお問い合わせください。お届けまで2週間程度かかります。

公式教材は全国の主要書店のほか、「今解き教室e-shop」でお買い求めいただけます。